



街頭啓発の様子

市では、交通死亡事故多発非常事態の宣言を受け、交通死亡事故の発生した周辺の地域において、安曇野交通安全協会支部や、安曇野警察署と連携し、緊急街頭啓発を行いました。事故現場周辺の各家庭を訪問しチラシや反射材などを配布しました。交通死亡事故現場では、関係機関と協議の上、路面のカラー舗装や、路面標示などの必要な対策を今後行う予定です。

緊急街頭啓発で 事故防止を呼び掛け

交通事故のない社会を目指して、市ではさまざまな取り組みを行っています。

市の取り組み

安全・安心なまちづくりに向けて～市の主な取り組み～

交通安全に関わる団体と連携し、交通安全対策に取り組んでいます。

街頭啓発・交通指導所の設置

- ・春と秋の全国交通安全運動時に、安曇野警察署、安曇野交通安全協会、市交通安全推進協議会合同出発式を開催
- ・市内各地で交通指導所の開設

高齢者交通安全モデル地区の設置

- ・モデル地区内で戸別訪問の実施

交通安全施設の整備

- ・区やPTA等から要望のあった道路反射鏡や防護柵、道路区画線などの整備

信号や横断歩道の設置

- ・必要な場所への設置を県公安委員会へ要望

通学路の安全確保

- ・学校周辺に指定された速度抑制のための「ゾーン30」の整備推進
- ・関係機関が連携し「市通学路交通安全プログラム」に基づく通学路の安全対策の実施



整備されたゾーン30（三郷地域）

世代に応じた交通安全教室の開催

子どもから高齢者まで、各年代に応じた交通安全教室を開催しています。

保育園・幼稚園では、理解力に応じた交通安全教室を行い、幼児期からの交通安全意識の定着を図っています。小学校では、スケアード・ストレイト方式による交通安全教室、高齢者には自動車学校の教習コースをお借りし、加齢による身体機能や判断力の低下等を体感することで自身の自覚を促す、参加・体験・実践型交通安全教室を行っています。



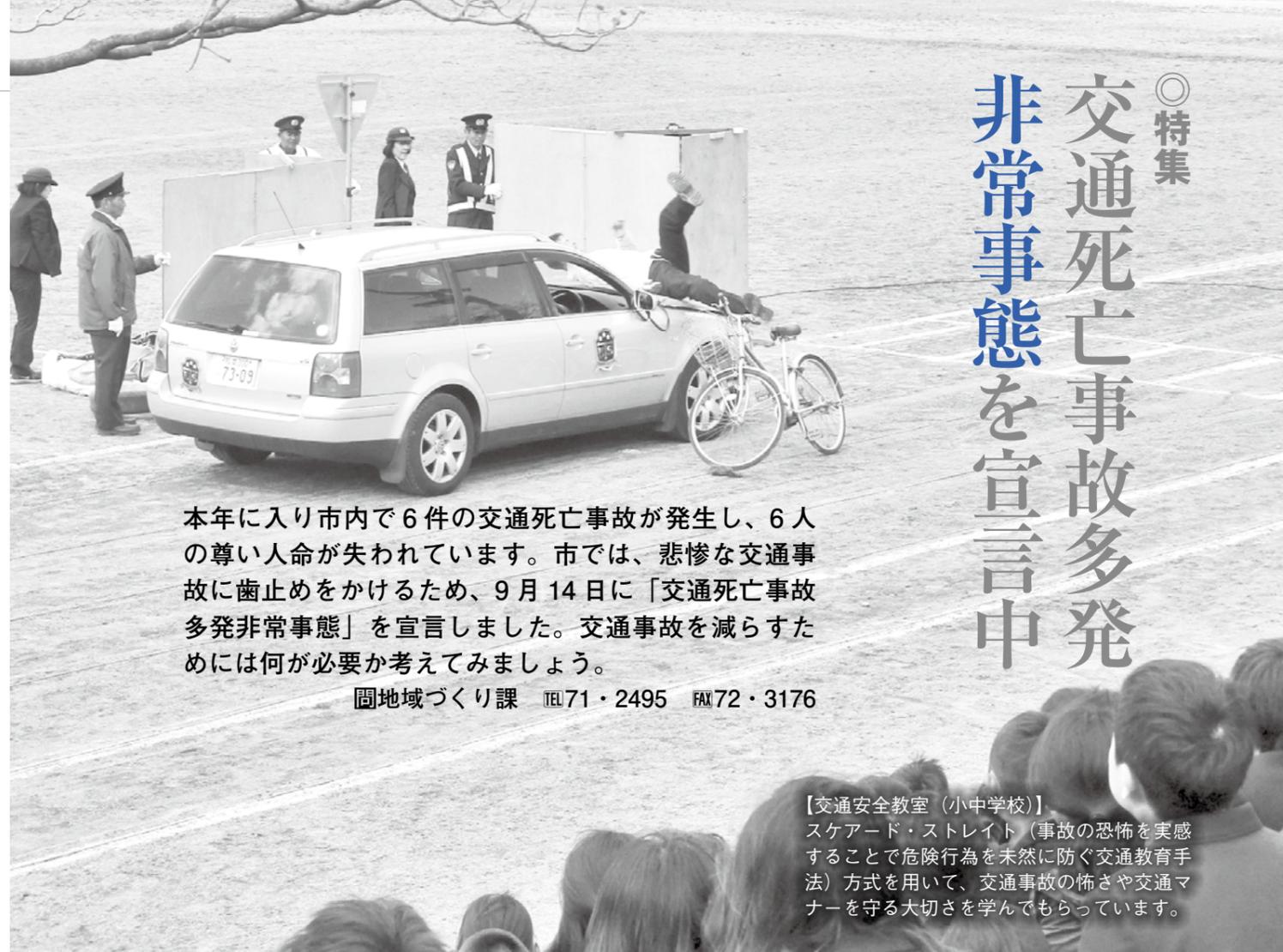
高齢者交通安全教室

「あづみん」の回数券を交付

加齢に伴う身体機能や判断力の低下により、運転に不安を感じるなどの理由で自主的に運転免許を返納した市民へ、デマンド交通「あづみん」の回数券を交付しています。一人につき一回限り、9,000円分の回数券を交付しています。

●問い合わせ先 地域づくり課 電話71・2495

◎特集 交通死亡事故多発 非常事態を宣言中



本年に入り市内で6件の交通死亡事故が発生し、6人の尊い人命が失われています。市では、悲惨な交通事故に歯止めをかけるため、9月14日に「交通死亡事故多発非常事態」を宣言しました。交通事故を減らすためには何が必要か考えてみましょう。

圏地域づくり課 電話71・2495 電話72・3176

【交通安全教室（小中学校）】
スケアード・ストレイト（事故の恐怖を実感することで危険行為を未然に防ぐ交通教育手法）方式を用いて、交通事故の怖さや交通マナーを守る大切さを学んでもらっています。

死亡者・負傷者とも増加

市内では、上半期だけで前年を上回る6件の交通死亡事故が発生しています。併せて、10月7日には長野県内にも「交通死亡事故多発非常事態宣言」が発せられ、極めて憂慮される事態となっています。県内の事故の傾向では、人身事故件数が500件以上減少しているにも関わらず、死者数が増加していることから、1度の事故が重大な事態になることがうかがえます。

平成28年度発生状況

区分	人身事故数(件)	死亡事故(人)	傷者数(件)
安曇野市	337 (+34)	6 (+6)	428 (+23)
長野県	6038 (-543)	95 (+47)	7544 (-590)

※安曇野市：1月～9月末、長野県：1月～10月5日現在



出陣式であいさつをする宮澤市長

高齢者・自転車による 事故が多数発生

市内では死亡事故だけでなく、人身事故は約10パーセント、負傷者数も約5パーセント増加しています。市内の交通死亡事故では、次のような傾向があります。

- ① 6件中5件は高齢者
- ② 6件中4件は自転車利用者
- ③ 6件中4件は交差点での事故
- ④ 自宅近くの生活道路で多く発生している